

かけはし

114号

発行者：会長 下妻久男
編集：広報部 会

発行／宇都宮保護区保護司会 〒320-0864 宇都宮市住吉町10番16号 TEL・FAX 028-633-6771 E-mail: utsunomiya@hogoshikai.jp

～ 地域を編む ～

● 宇都宮更生保護女性会 会長 廣瀬路子



宇都宮更生保護女性会（以下宇更女）は、今年で結成70周年を迎えます。その基本姿勢は、「更生保護の精神に徹し、保護司の側面協力者」として組織された会です。長期に渡り、保護司会の皆様にはご指導、ご協力

いただき、ありがとうございます。

宇更女は、設立当初から矯正施設・福祉施設の訪問研修、刑余者の救済活動など更生保護ボランティアとして実践活動をしてきました。変わらないことといえば、賑やかで笑い声の絶えない、おせっかいおばさんが続けていることでしょうか。宇更女の活動は、身近に困っている人がいるなら、地域の団体等と情報を共有し、連携・協力して手助けしていくこと。ちいさなことも見逃さず、目を凝らし独りぼっちな社会を作っていくことです。自分の地域の問題、不安、心配事を拾い出し困難を抱えている人たちを知ることです。「地域を編む」ことが私たちの活動を広げていく手段なのだと考えています。ご協力をよろしくお願いします。

それでは、活動の一部を紹介いたします。

宇更女は、有隣会への食事作りを30年以上続けています。食材等は、できるだけ会員が持ち寄ります。昨年は、真夏には牛丼、そしてお米のおいしい時期はおにぎりや豚汁を作り、食卓を囲み談笑しました。どのテーブルも話が

弾み、寮生と会員が打ち解けて話す姿が目立ちました。寮生の中には、3杯もお替わりする強者もいてびっくりでしたが、喜んで食べてくれている姿に感激しました。最後に「お腹いっぱいになり、心も満たされました」と、感謝の言葉をいただきました。「また、食事作りをやりたいね」の声が上がるほどで、会員一同すっかり疲れが吹き飛んでしまいました。

青少年の健全育成にも力を入れています。

児童養護施設へは度々お邪魔します。夏祭り、新年訪問など子どもの元気な姿が、私たちに力を与えてくれます。

宇都宮市・保護司会・宇更女で実施している社明作文コンテストには、自らの体験や周りの出来事から感じたことなど、自分が出来ることを真剣に考え、発表する姿が頼もしく思えます。この子達の将来が楽しみです。

中学2年生で行われる立志式には、市内全中学校37校へ5,000体の手づくりの紙しおり人形を贈呈しています。《立志式おめでとう。健やかな成長を祈ります》のメッセージカードを添えています。生徒からのお礼状が毎年届き、それを読むことが楽しみです。校長先生や担当の先生方の温かいお言葉も、会員の励みになっています。

宇都宮少年鑑別所へは、チューリップの球根植えのお手伝いに行っています。球根を植えたことの無い子が、球根に土をかけ、「これで大丈夫ですか。春には花が咲きますか。」と心配そうに聞いてきました。そのやさしさを忘れないでほしいと願っています。

日時計

共生の心
鶴田町中部自治会の会長を十年勤め、
今期は姿川地区自治会四十七の連合会

長を拝命しました▼自治会の最大の目的は大災害時に、いかに避難場所に家族や組内の人たちと避難するかだと思っています。その為に、毎年自治会の事業計画を企画し、実行することで結束が生まれます。その中心となる事業が「鶴中みんなの祭」です。各種団体である福祉協力員、子供会、福寿会その他の団体や各班長と役割分担を決め、焼きそば、ポップコーン、わたあめなど、その他子ども神輿やいろいろなイベントを開催します。五百世帯の会員に回覧板を廻し通知し、この活動で地域の絆を強くするのです▼保護司会も対象者に声をかけて一緒に実行委員会を立ち上げて、役割分担を決め地域の子供達や高齢者に二百円位の物を販売して楽しんでもらいます。終了後反省会をすることが更生につながると思っています▼私は共生の心を常に大事にしている、人と人が支えあうこと、それに基づく行動、相手を思いやることから信頼と結びつきが生まれ、誰もが居場所を見つけれ、誰ひとり置き去りにしない社会を構築していく必要があるのではと思うのです。

特集

SDGsと保護司活動

SDGsという言葉が聞かれて久しい。今でこそいろいろな場で使われ、最近では小学生でも口にす。自分の小学4年生の孫にも聞いてみたが、まだまだしっかりとした理解はできておらず、プラスチックなどの環境汚染や最近の異常気象についての気候変動など一部のことをあげていた。SDGsはこれからの地球全体の方向性をあらゆる視点から考えられたものであるが、私たちがすべてを理解をしていかなければ到達できるものではない。昨今のニュースなどを見ると、今やできる人・関心のある人に任せておけば何とかなっていくだろうとのんきなことは言っていられない状況にある。今回保護司活動とSDGsとは無関係に思われるが、我々も関心を持ち、少しでも未来の子供たちにより良い環境を残せるようにしていきたいと思い、特集とした。

☆ SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals 通称「グローバル・ゴールズ」)

「2015年の国連サミットにおいて加盟国が合意した国際目標で貧困や飢餓、気候変動や環境破壊など、地球規模の課題を解決するため17のゴールとそれを達成するための169のターゲットから構成され、地球上の『誰一人取り残さない』ことを誓い、2030年までの達成を目指す。」日本語では持続可能な開発目標という意味。

☆ 具体的に国連が定めた17の持続可能な開発目標とは

⇒「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 目標 1. あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標 2. 飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う
- 目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- 目標 9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標 10. 国内および各国間の不平等を是正する
- 目標 11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 14. 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

(出典：外務省国際協力局編集・発行パンフレット)

☆ SDGs と法務省

⇒ 安心・安全な社会や、差別や虐待のない人権に配慮した社会の実現を目指し、再犯防止対策や様々な人権問題への対応を行っている（法務省HPより）

〈法の支配の促進に関する国際協力〉

京都コングレスとその成果の具体化

第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）の開催及びその成果の具体化

- アジア太平洋刑事司法フォーラムの定期開催
- 法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラムの定期開催
- 再犯防止関連審判関連の主導

法制度整備支援

開発途上国や市場経済への移行を進める国などに対して、それらの国々が進める法制度の整備を支援。相手国の実情にあった法律や制度を共に考える。

法令外国語訳の推進

国際取引の円滑化や外国人への司法アクセスの確保の支えとなる日本法令の外国語訳を整備し、計画的にインターネット等により国内外に向けて公開・発信

〈ダイバーシティ・バリアフリー推進〉

「心のバリアフリー」の推進

外国人・障害者の人権の尊重をテーマとした人権啓発活動に積極的に取り組む。

外国人との共生社会の実現に向けた環境整備

「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」及び「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を着実に進める。

〈再犯防止対策・法務の充実〉

犯罪や非行をした者の再犯防止

「再犯の防止等の推進に関する法律」及び「再犯防止推進計画」に基づき、以下の再犯防止対策を推進

- 犯罪をした者等の特性に応じた指導
- 就労・住居の確保や、保健医療・福祉サービスの利用促進
- 学校等と連携した修学支援 等

予防司法支援の推進

紛争を未然に防止する政府全体の取組を推進するため、訴訟対応等によって得た知見をいかに、各府省庁から相談された法的問題について助言することにより、国の行政の法適合性を高める。

総合法律支援の充実

日本司法支援センター（法テラス）において、全国で法的サービスを提供

オウム真理教や国内外のテロ等の動向把握を通じた公共の安全の確保

我が国の公共の安全の確保のため以下の取組を実施

- オウム真理教や国内外のテロ関連情報の収集・分析
- 経済安全保障・サイバー関連情報の収集・分析
- カウンターインテリジェンス機能の強化 等

無戸籍者問題への取組

無戸籍者の実態把握を行うとともに、各地の法務局に相談窓口を置き、戸籍作成のための丁寧な手続案内を実施

〈平和のための能力構築〉

各国の刑事司法実務家を対象とする研修・セミナー

JICA等の関係機関と協力し、汚職、組織犯罪対策などSDGsに掲げられた国際社会の優先課題をテーマとする刑事司法及び犯罪者処遇に関する研修・セミナーを実施

〈子どもの安全等〉

コミュニケーション手段の多様化を踏まえた子どもの人権問題への対応の推進

いじめを始めとする子どもの人権問題について、若年層が利用する様々なコミュニケーション手段を積極的に活用すること等により、子どもの人権問題への対応を推進

☆ SDGs と保護司会との関連

この部分は、今回特に時間をじっくりかけて調査をしたいところであったが、時間的にかなわずネット上の限られた範囲での調査結果となった。しかし全国では早くから「持続可能な開発目標」を掲げて保護司会の活動を行っているところがあることを知り、大いに刺激を受けた。それぞれの保護司会に到達できるゴール目標に対して取り組み内容等を決め、到達に向けて努力している様子がうかがえる。宇都宮保護司会もぜひ取り組んでみてはどうだろうか。（数字は目標番号）

静岡県 3・8・16・17 品川区 3・10・11 滋賀県 3・11・16 大田区 5・11・12・16

福島県白河地区 1・10・16 など（尚、実際の取組目標等についてはHPなどを参照されたい）

☆ 手軽にできるSDGs

- ・ 節電や節水を心がける
- ・ リサイクルを積極的に行う
- ・ 残業を削減し休暇をしっかりとる
- ・ 植林活動に参加する
- ・ 食品ロスを減らす
- ・ 交流イベントに参加し様々な人と触れ合い協力し合う
- ・ 車での移動はせずに自転車や公共交通機関を利用する
- ・ 支援団体や子供食堂への寄付をする
- ・ 健康寿命を伸ばす
- ・ 家事や育児の分担を行う
- ・ 災害対策をしておく
- ・ ボランティア活動への参加を行う
- ・ プラスチックごみ、紙ごみを削減するなど

〈まとめ〉

SDGsは知っているが、どのように取り組めばよいかわからないという人は多い。でもすぐに行動に移せる身近な取り組みは意外にも身の回りに存在する。節約や健康づくり、差別をしないなど誰にでもできる当たり前の行動がSDGsの達成につながっていく。毎日ちょっと意識して生活するだけで世界観が変わるかもしれない。保護司としても常識として心にとどめたい。

更生保護制度施行75周年記念 栃木県更生保護大会

11月26日(火)13時から宇都宮市文化会館小ホールにて「更生保護制度施行75周年記念栃木県更生保護大会」が開催されました。

県内から350人が出席し、宇都宮市では64人に表彰状・感謝状が贈呈されました。

栃木県保護司会連合会下妻会長や宇都宮保護観察所西村所長の挨拶の後、法務大臣表彰から順次顕彰式が行われました。

表彰終了後、受賞者代表謝辞、来賓祝辞等があり14時45分から記念講演として栃木県那須学園園長 菊地明則氏から「児童自立支援施設について」という演題でお話を伺い閉会となりました。



栃木県保護司会連合会下妻会長の挨拶

～栄えある表彰を受けられた方々～ 宇都宮保護区（敬称略）

✿ 藍綬褒章 令和6年秋 藤村 眞琴（北部）

岡本 良（陽南） 中山 敬子（陽東）

✿ 法務大臣表彰

根本 孝（河内） 山崎 育子（東部）

星野 富男（陽西）

✿ 宇都宮保護観察所長表彰

✿ 全国保護司連盟理事長表彰

鮎澤ゆり子（東部） 平野 朱美（北部）

下妻 久男（東部） 高橋 堅三（陽東）

横山 昇三（陽西） 金田 久子（南部）

荒井智英子（東部） 杉本 浩亮（陽東）

佐藤 義晴（南部） 添田 圭（東部）

高島 進（陽東）

星 悦子（陽北）

✿ 関東地方更生保護委員会委員長表彰

✿ 栃木県保護司会連合会長表彰

吉澤 定雄（西部） 長岡 伸（北部）

赤坂 信行（北部） 朝日 雅昭（北部）

小池 薫（中央） 福田 千代（東部）

上鈴木昌美（河内） 小林 綱芳（西部）

菅沼 照子（陽東） 高野 博之（北部）

澤田 明彦（陽北） 菅原 一浩（河内）

阿久津喜大（東部） 坂垣 博史（中央）

直井 茂（東部） 仲田 陽介（中央）

松原 正明（東部） 大関 啓二（陽南）

平松 明夫（陽東） 藤島 拓（陽西）

綱川 敬子（陽東） 徳原 省市（西部）

山本 和紀（北部） 六本木保仁（河内）

✿ 関東地方保護司連盟会長表彰

別井 正子（陽南） 嶺 緑（河内）

金田 大史（陽西） 齋藤 幸一（陽東）

青木由希子（南部） 赤羽 陽子（河内）

齋藤 康史（中央） 嶋田 辰雄（陽北）

永見 京子（河内） 鈴木 秀治（陽北）

関口 忠史（中央） 高野恵美子（陽西）

✿ 栃木県知事感謝状

上野 節子（陽南） 岡田 泰明（陽南）

竹田 真臣（陽北） 土田 民江（北部）

野澤 賢二（東部） 山上 武志（南部）

横山 崇（陽北）

令和6年度 社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式



市役所の特別会議室にて

令和7年1月30日(木)

市役所特別会議室 16時30分～

今年度の受賞者(中学生3人)と保護者の方々が参加し、主催者である宇都宮市の佐藤市長から祝辞が述べられ、宇都宮保護区保護司会、宇都宮更生保護女性会の会長より表彰されました。



おめでとうございます

【小学生の部】

対象なし

【中学生の部】

宇都宮市推進委員会委員長賞(宇都宮市長賞)

光り輝く社会への階段

宇都宮市立横川中学校

2年

かとおのにな
上遠野仁菜さん

宇都宮保護区保護司会会長賞

明るい社会への積み重ね

宇都宮市立一条中学校

1年

いけだ なお
池田 直央さん

宇都宮更生保護女性会会長賞

決めつけのない尊重の世界へ

宇都宮市立宝木中学校

2年

きむら ひまり
木村 陽葵さん

令和7年新年自主研修・懇親会

令和7年1月21日(火)

宇都宮東武ホテルグランデ

参加者 ・ 研修会92名 ・ 懇親会85名

今回の研修会は懇親会の会場を兼ねていることもあり、各分区ごとの円卓での席で行われました。講師は宇都宮保護観察所長の西村朋子氏で、鎌倉へ出掛けた際たまたま見つけた神社が宇都宮の地名と同じだった



西村所長の講話

との話から始まりました。(調べたところ宇都宮稲荷神社は段葛の東方にあり、源頼朝の家来であった宇都宮氏とのつながりが関係しているようです。) 本題では犯罪白書に沿い、最近の犯罪の傾向についてわかりやすく説明



懇親会で会長から藤村氏への花束贈呈

をしてくださいました。再犯率は下がっているようですが、犯罪の質は変わってきているとのことでした。私たちの息の長い支援の必要性を強調していました。またhouse(ハウス)とhome(ホーム)の違いにふれ、生きづらさをなくす大切さも話されていました。終始和やかな雰囲気での研修会でした。

4年ぶりに開かれた懇親会は、各分区の交流や新人保護司の紹介などで大いに盛り上がり、和やかなうちに閉会となりました。



河内分区 ろっぽんぎ やすひと
六本木 保仁さん

六本木さんは、令和2年5月に委嘱を受けられました。

保護司になったきっかけは、幼い頃からの知り合いだった先輩保護司からの誘いを断りきれなかったからだそうです。

5才の時に父が33才で他界し、母と兄、姉の4人暮らしとなり、小学校低学年から家事をこなしていたという苦労人です。

地方公務員を38年間勤め、主に都市計画課で用地買収を担当していたため、人とのかかわり合いを大切にすることで今日があると感じていました。

現役を退職後は、自治会長などを歴任し、現在は西鬼怒土地改良維持推進委員など農業関係の要職に付くと共に農業に従事されています。

周囲の人望も厚く、退職後も後輩の面倒見がよい人柄で、保護司会では総務部会に属し、企画調整保護司としても活躍されています。

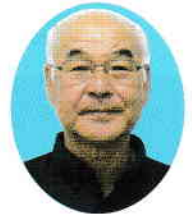
モットーは「人様には迷惑をかけないこと」で、子供達にも「けんかをしても仲直りしなさい」と常に言い聞かせていたそうです。

本人、妻、長男、叔母の4人家族で、次男と長女は独立し家庭を持っているとのこと。

趣味は、奥さんと一緒にドライブや旅行をすることだそうです。買物も一緒に行き、値段を見ることが好きという一面もありました。

これからも、人とのかかわり合いを大切に、健康維持のため農業を続けたいと語り、季節は寒中、外は厳冬でしたが、掘ごたつに入り人生訓を語り合った90分、ほのぼのとした家族愛にもふれ、身も心も温かくなって帰途につきました。

〈インタビューー 小野 修央〉



東部分区 ますぶち まさのり
増渚 正典さん

増渚さんは、高校の先輩である下妻会長に誘われ保護司になりました。初めに誘われた時は引き受けてもよいと思いましたが、退職後間もないこともあり時間的余裕がなく断りました。後日、再度勤められたときは、地域に貢献したいとの思いで引受けたそうです。

農家の長男でしたが高校生の時に先生に憧れ体育教師を目指しました。高校・大学では、やり投げの選手として、インターハイや国体で入賞し、大学2年生の時は県の記録を更新するなど大活躍されました。

県立学校の教員となり、母校である宇都宮東高校では陸上競技部顧問として指導したハンマー投げと100m走の選手が全国大会で優勝し、さらにその100m走の選手は、20歳以下の世界選手権に日本代表で出場し7位に入賞しました。その頃は教員として最も充実した楽しい時期だったそうです。

38年間の教員生活では学校以外にも教育委員会や外郭団体の県体育協会、今市青少年スポーツセンターなどに勤務し、小山南高校校長を最後に定年退職するまで11か所に勤務されました。仕事内容が職場により大きく違うため大変でしたが、色々な事を経験でき感謝しているようです。「転勤は最大の研修なり」という言葉は、まさにそのとおりです。現在は栃木県陸上競技協会の事務局長として多くの競技会の運営に携わり、平日の9時から12時30分まで勤務されています。保護司活動には十分な時間を充てられるとのこと。

最近の楽しみは奥様とドライブ旅行に行くことで、去年は函館や金沢を訪ねたそうです。また、横浜に住んでいる5歳の孫が月に1度帰って来ますが、日々成長している様子を見守ることが愉しみだそうです。

最後に、健康に留意して保護司活動や趣味に取り組んでいきたいとお話されました。

〈インタビューー 鮎澤ゆり子〉

あの人
この人

保護司日記

自覚と環境

【〇月〇日】 観察官から電話が入った。無免許で普通自動二輪の運転を繰り返して一号観察となった少年との事。三人目の対象者で、このところ生活環境調整が三案件続いていた。一年半ぶりの保護観察対象者である。

【〇月〇日】 少年の担当は初である。話を通じるのか、会話が成り立つのか少々不安。私が対象者の年齢時は大人の話など右から左に抜け聞こえてこなかったし…などと思いながら電話をかけた。

「こちらから電話をかけず、すみません」

対象者のハキハキした言葉と礼儀正しさに安堵した。

【〇月〇日】 初回往訪、妹は階段を駆け上る。母親も同席し明るく礼儀正しい対応に少年の礼儀正しさと明るさは母親譲りか、家族仲も良い。本人さえ自覚を持てば必ず更生できる環境だと感じる。

雑談後五年後の自分を考えさせる。現場をしっかりと覚えて五年後にはリフォーム相談に応じられる営業職になりたい。通信制高校も進級できるよう頑張りたい。15万円の給料の内5万円を交遊費、10万円を貯蓄し免許を取りカッコイイバイクを買いたい。

時間がかかったが三つの目標を絞り出してきた。五年後の自分を目指し再犯することなく頑張る欲しい。

面接しながら考えていた。次の面接時には少年の誕生日の話をしてみよう。「〇〇君の誕生日に命を懸けて頑張った人は誰か。」大人になれば自分の誕生日は親に、特に母親に感謝の日と感じるものだがこの少年、そこに気付いているか。徐々に物事の見方を違う角度から考え、他者の気持ちも考えることのできる大人になって欲しい。少年の更生を願う母親の力にもなればと思う。

〈南部分区 Y・T〉

出前講座「詐欺被害に遭わないために」

熊倉 シゲ子

私は、現在「栃木県消費生活リーダー連絡協議会宇都宮支部」に所属しています。団体の主な活動は出前講座です。市消費生活センター、県くらし安全安心課の委託を受けて、各公民館や自治会集会所に出向いて、詐欺被害に遭わないための啓発寸劇を行っています。

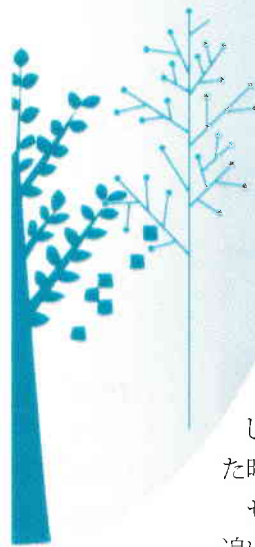
出前講座を通して感じることは、啓発寸劇の効果です。寸劇のよい所は、客観的にみることができる点、自分も気を付けようと思えるという効果があります。

かつては悪質商法といわれていましたが、1999年頃から「オレオレ詐欺」による被害が多くなりました。いわゆる劇場型詐欺です。現在では、悪質商法に加えて特殊詐欺による犯罪も多発しています。出前講座では、「うまい話」にはのらない、その場で「はい」と言わない。「お金の話」が出たら即電話を切る。手口が巧妙になり「騙されてもおかしくない」と思うことが大事と伝えています。

最近では、交流サイトSNSを通じた投資詐欺・ロマンス詐欺被害が増加しています。2024年度栃木県警が認知した件数は、前年比18件増の64件、被害額は前年比3億1160万円増の10億376万円。詐欺グループは国内のみならず、国外からスマホにアクセスしてきます。詐欺に加担する若者達も増えています。

詐欺被害撲滅に向けて、出前講座に力を入れていきたいと思っています。

木陰



保護司会合唱団の一步

合唱団団長 星野 富男

保護司会合唱団は、本年10月で10周年を迎える。活動を開始するにあたり決まっていた事は、本番の日程と指導者でした。デビューの日まで5か月、月2回練習して計10回でステージ演奏するという無謀な計画。素人の中年男性10人が集まりました。何も知らない、怖いもの知らずのメンバー。役割を決め、練習会場を確保し、会費を集めて、合唱へと準備は整いました。

唱う歌は2曲で、初めはアカペラで団の持ち歌になるドイツ生まれの『学生歌』。次は共演してくださる宇更女女性会のコーラスグループ(きずな)の皆様とのピアノ演奏での『ビリーブ』の2曲になりました。それぞれの合唱団の指導者が同一という事がスムーズに進んだ要因だと思います。

先生の指導の下、我々の練習スケジュールは発声のトレーニングをして、ミニキーボードで出だしの音を弾いてもらい、声を合わせて男性2部合唱を休憩を挟んで2時間でした。

指導者沼尾守夫先生の音楽に対する情熱には、頭が下がります。我々の様な未熟な物に、熱心に分かりやすく何度でも粘り強く教えていただきました。常に1歩先を見据えてくださりました。

団員の服装は相談の結果、礼装上下・白ワイシャツ・黒蝶ネクタイ・黒靴となりました。ステージ上の自分たちは馬子にも衣装だと思いました。

コロナ禍の2年を除いた8年近い年月を合唱という楽しみを共有した仲間達、熱い思いや緊張感、一緒に過ごした時間に比例して絆が深まりました。

せっかく歩み出した合唱団、行き着く先を仲間と共に夢を追いかけてみたいと願う日々です。

ハプニング!

【〇月〇日】 覚醒剤の再犯で担当するYさんから連絡有り。最初の往訪は、住居のマンションで話を聞いた。喘息の持病があり、婦人科と歯科に通院し、1日〇錠の服薬を日課とする。通院するだけで1日仕事になりそうだ。生活保護を受給し一人暮らしとの事。次の面接を相談のうえ、地域のコミセンに決め、その場所の地図を手渡し、本人からバスを利用して行きますと答えがかえってきた。

【〇月〇日】 異常気象の夏、面接時間を10分過ぎたので連絡したら、バスに乗り遅

れて歩いていますので15分待って下さいと言われた。夏は不得意で強い日差しは苦手だと聞き、面接はエアコンのあるマンションで良いと判断した。

【〇月〇日】 応訪するがインターホンを押しても出ない。電話も応答無し。メールして返信がきたのが3日後。内容は体調不良で起きられず失礼しましたと。次の日程を決めて返信。理由を聞くと、带状疱疹を発症し酷い目に合ったと話した。次回面接の約束をし、痛々しい左肩の傷跡を確認し、お大事にと言って早々に帰った。

後日談として、通常は一回しか処方されない薬を症状が改善されないため2度通院

し、2カ月近く苦しんだと話した。

【〇月〇日】 本人から唐突に3日後引越しますと言われびっくり。何も聞いていなかったで慌てた。経緯を聞いて新住所をメモ、注意事項を話し、私から観察官に連絡する旨を話した。観察官に報告相談して、隣接地だけど引き続き担当する方向で話が進み、次回面接で転居許可申請書の提出を依頼されて実行し、無事承認された。

私の長い経験でも、1か月の間に旧住居と新住居を訪問したのは初めてであった。

〈陽西分区 T・H〉

第Ⅲ期研修

- ・令和6年12月3日(火) 13:30~15:00
- ・場 所 宇都宮市役所14階
- ・講 師〈保護観察官〉 大石謙太 氏
- ・テーマ 更生保護75年の歴史について
- ・参加者 107人



話に聞き入る会員

合同研修

- ・令和6年11月11日(月)
- ・雇用主会・協力組織部会
- ・保護司 24人 ・雇用主会 4人



センターの前で参加者一同

視察研修は、実際の空間に身を置くことでしか得られない「体験」ができる。今回の視察先は先進的な矯正プログラムを誇る喜連川社会復帰促進センター。

爽やかな秋晴れとなった11月11日。施設内見学は大勢でぞろぞろと進みながら、各所で受刑者の様子を見学。

ここでは陶芸を見たが、とても興味深く少し曇った気分も一掃された。最後に刑務作業製品を見た。展示されていたのは渋い感じの木彫りの家具。もっと現代的な何かはないものかと思っていたら、何とネイルチップがあった。私がおしゃれな女の子だったら買ってしまおうだろう。

下妻会長が提唱している「明るく楽しい保護司会」というのは本当に良いテーマだと思う。難しい議論の時間だけではなくそれ以上にみんなと一緒に過ごす時間があるといいかもしれない。もっと仲良くなれるから。

それにはAIを活用してもっと有意義な時間を増やすのも一つの手である。

〈協力組織部会長 馬場 和廣〉



主な行事

- ・宇都宮市社明運動市民のつどい(令6.7.13 オリオンスクエア)
- ・栃木県いきいきフェスタ in 佐野(令6.7.20 葛生あくとプラザ)
- ・第2期地区別定例研修(令6.9.3 宇都宮市役所 大会議室)
- ・第2回理事会開催(令6.9.27 宇都宮保護観察所 会議室)
- ・宇更女合同研修(令6.11.7 アコール)
- ・雇用主会合同施設参観研修
(令6.11.11 喜連川社会復帰促進センター)
- ・更生保護制度施行75周年記念栃木県更生保護大会
(令6.11.26 宇都宮市文化会館 小ホール)
- ・第3期地区別定例研修(令6.12.3 宇都宮市役所 大会議室)
- ・第3回理事会開催(令6.12.11 宇都宮保護観察所 会議室)
- ・新年自主研修・懇親会(令7.1.21 東武ホテルグランデ)
- ・第1回役員選考委員会(令7.1.27 宇都宮保護観察所 会議室)
- ・第4回理事会開催(令7.3.24 宇都宮保護観察所 会議室)

〈お知らせ〉

令和7年度宇都宮保護区保護司会総会を開催します。

- ・5月15日(木)
- ・ホテルニューイタヤ
- ・受付 13:00~ 13:30開会

第Ⅳ期自主研修会

【陽東分区】 【陽北分区】

- ・2月27日(木) 15:00~
- ・八坂神社

【陽西分区】

- ・3月15日(土) 10:00~
- ・細谷コミセン
- ・犯罪被害者の件について
- ・講師 刑部澄子保護司
- ・参加者 9人

【東部分区】

- ・3月25日(火) 14:00~
- ・金剛定寺客殿
- ・事例検討
- ・講師 大石謙太
- ・参加者 12人



編集後記

- ★今回は「SDGsと保護司活動」について特集しました。
- ★原稿依頼を引き受けてくださいました方々に心より感謝いたします。
- ★寒暖差が激しい季節です。ご自愛ください。